

(別紙様式1)

平成25年度「岐阜県ふるさと教育週間」実施報告書

学 校 名	揖斐川町立久瀬小学校		
実 施 期 間	平成25年10月27日(日)		
実 施 概 要	◇地区文化祭での発表と地域の人との交流 ①「地域の方に恩返しする活動」として、教科(生活科, 国語)で学んだことを発表したり、「おもちゃやさん」に幼稚園の園児を招待したりする活動 ②地域に伝わる伝統芸能について学び、地域の方の前で披露する活動 ③総合的な学習において『地域の自然(森林を守る取組)』について学んだことを分かりやすく地域の方に発表する活動 ④全校児童による合唱の発表		
実 施 内 容	学習・取組の分野 <input checked="" type="checkbox"/> 自然 <input type="checkbox"/> 歴史 <input checked="" type="checkbox"/> 文化 <input type="checkbox"/> 産業 <input type="checkbox"/> その他		
	公開の方法 <input type="checkbox"/> 授業公開 <input checked="" type="checkbox"/> 成果発表 <input checked="" type="checkbox"/> 交流活動 <input type="checkbox"/> 講演会等 <input checked="" type="checkbox"/> 地域行事等参加 <input type="checkbox"/> その他		
来 校 者 数	保 護 者	17人	計 267人
	地域関係者	250人	
実 施 状 況	地区の文化祭での発表 〔低学年〕「おもちゃやさんに きてください」 国語の時間に学習した音読劇を発表した。何度も練習を重ね、緊張せずに大きな声で発表できた。 また、生活科の学習で、身の回りの材料を使っておもちゃを手作りし、幼稚園児を招く「おもちゃやさん」コーナーを作った。ステージで、その「おもちゃやさん」に来てもらえるように宣伝した。手作りすることは楽しいけれど、おもちゃが壊れたり、うまく動かなかったりして、人に喜んで遊んでもらえるように工夫した。お店屋さんに並ぶおもちゃの遊び方をみんなに伝え、幼稚園の子はもちろん、その親さん方や上級生にもいっぱい遊んでもらった。 〔中学年〕「地域を愛する心～伝統を引き継ぐ」 総合的な学習の時間に、毎年引き継がれている「三倉太鼓踊り」の練習や、地区行事、昔話など、久瀬の伝統を学んできた。 「三倉太鼓踊り」は、地域の方の協力を得て、立ち位置や振り付けなど一から教えていただいた。子どもたちも、すぐに踊りのコツを覚え、「宮入り」「しゃぎり」「蠅の手すり」の3つの踊りを細かい所まで気を付けて、丁寧に踊ることができた。 また、子どもたちの普段暮らしている地域には「てんぐ」の話が多いことに気付き、「てんぐ」の話を劇にして紹介した。学校生活や夏休み中もたくさんの地域行事に参加した子どもたちだからこそ、地域のよさを知り、地域の人々の思いを発表に生かすことができた。 〔高学年〕「久瀬の自然を見つめよう」 5年生の社会の教科書にのっていた1枚の写真から、総合的な学習の時間をスタートさせた。「海辺で暮らす人が、なぜ山に来て木を植えるのか？」という疑問の答えを探しながら発表を構成した。 また、身近にある自然(森林や川)をもう一度見つめ直し、未来に残していくためには、今、何をしていく必要があるのかを一緒に考えてみたいと思った。町内の「天皇林」で学んだ間伐について、実際に丸太をのこぎりで輪切りにする体験を観客にってもらう場を発表に組み込んだ。 〔全校合唱〕 午後には、全校児童による合唱を発表した。『もみじ』と『世界に一つだけの花』を披露した。児童集会や学級で練習を積み重ねた成果を思う存分発揮した。身体でリズムをとりながら、一部振り付けも入れながら大きな声で歌えた。		

成果及び課題

- ◇すべての発表が内容のレベルが高く、また生き生きとした子どもたちの姿を見ることができたので、保護者や地域の方から好評であった。
- ◇低学年の教科、中・高学年の総合的な学習の時間に学んだことを地域の多くの方に知っていただくという意味で、効果的な機会であった。
- ◇多くの方の前で発表するという体験は、表現力を磨くという観点から、分かりやすく「大きな声で」「具体物を提示しながら」発表する必要があることを学んだ点で有効であった。
- ◇自分たちが学んだことや練習してできるようになったこと、願いをもって製作したり練習したりしたことでも多くの方に喜んでもらえた。このことは、児童にとって自信となり、今後の取組への意欲を高めるうえで効果があったと言える。
- ◇地域の一員として参加するという観点では、話し方・聞き方も極めて良好で、鑑賞会等の好ましい臨み方を身に付けつつあると言える。
- ◆声が小さく分かりにくい部分もあった。普段の生活の中で、全員が大きな声でゆっくり話ができるようにさらに指導を積み重ねていく必要がある。